

Panasonic®

取扱説明書

工事説明付き

ワイヤレスリピーター 業務用

品番 WX-CR480



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(8~10ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。



PUQX1041YA

はじめに

商品概要

本機は、オールインワンヘッドセット（WX-CH457:別売品）用のワイヤレスリピーターです。

センター モジュール（WX-CC411B:別売品）に接続します。

- 1.9 GHz帯DECT^{*}準拠方式採用により広いエリアで明瞭度の良い音質を実現し、干渉を受けることが少なく安定した通信ができます。
※DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications)：デジタルコードレス電話の通信規格
- 壁取り付け設置ができます。
- USB電源アダプターとUSBケーブルは同梱していません。市販品をお買い求めください。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- ワイヤレスリピーター（WX-CR480）を本機またはリピーターと表記しています。
- センターモジュール（WX-CC411B:別売品）をセンターモジュールと表記しています。
- オールインワンヘッドセット（WX-CH457:別売品）をオールインワンヘッドセットと表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2024年6月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

システム概要

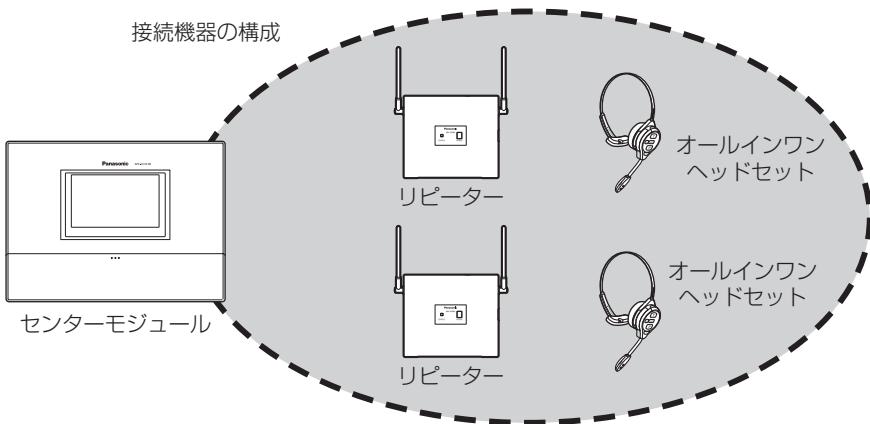
リピーターは、オールインワンヘッドセットが電波を受信できるエリアを拡張するときに使用します。

1台のセンターモジュールに2台のリピーターを登録できます。

センターモジュールにリピーターを登録して使う場合はオールインワンヘッドセットWX-CH457（ソフトウェアバージョン2.00以降）を使用してください。

システム接続例

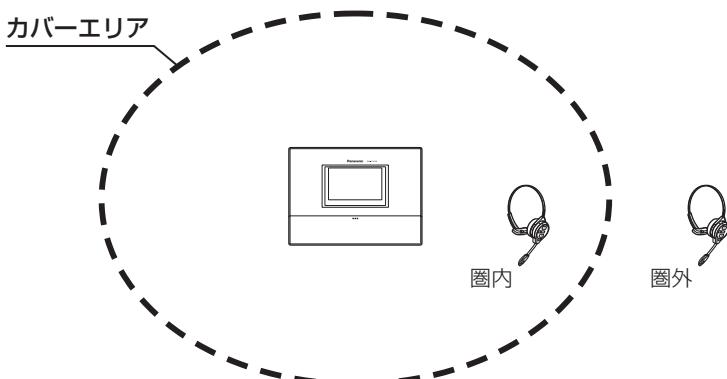
センターモジュールのカバーエリア内にリピーターを設置します。
2台のリピーターを接続することができます。



受信可能エリアの拡張について

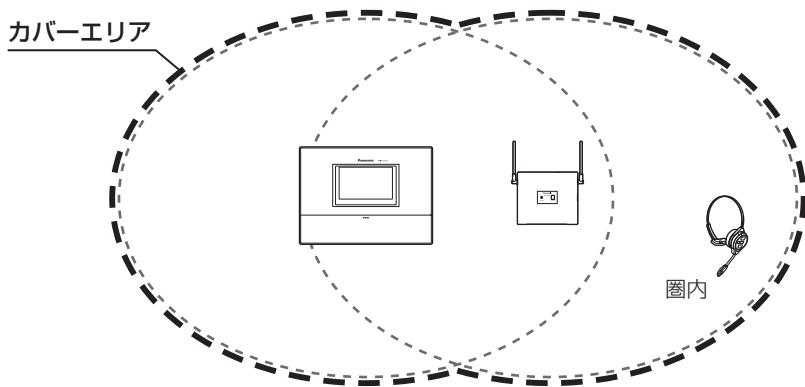
リピーターを使用することで、カバーエリアを拡張することができます。
リピーターは、センターモジュール1台につき最大2台まで登録可能です。

センターモジュールのみの場合

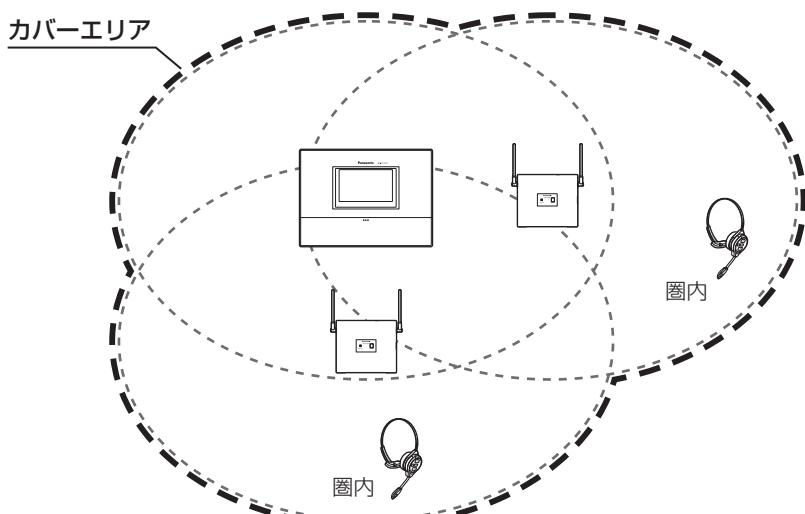


はじめに

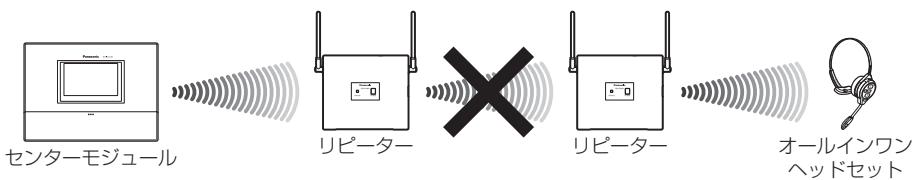
リピーターを1台登録した場合



リピーターを2台登録した場合



- リピーターをカスケード接続することはできません。



付属品をご確認ください

取扱説明書（本書）	1冊
保証書	1式
固定金具	1個
本体取付用ねじ（M3×8 mm）	1本
木ねじ（4.1 mm×25 mm）	4本
結束バンド	1本

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、拡声ができないことなどで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

はじめに

電波について

- 本機は、1,895.616 ~ 1,902.528 MHzの帯域を使用する、デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。
(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)
- J-DECTロゴは、DECT Forum の商標です。J-DECTのロゴは ARIB STD-T101に準拠した1.9 GHz帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

1.9-D

J-DECT

● 本機の使用周波数に関するご注意

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源を切り、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、システムお客様ご相談センター（裏表紙）へお問い合わせください。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



●重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

本機に表示される記号は、以下の意味になります。

—— : 直流電源記号

もくじ

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
略称について	2
システム概要	2
付属品をご確認ください	5
免責について	5
著作権について	5
電波について	6
記号について	6
安全上のご注意	8
使用上のお願い	11
各部の名前とはたらき	12

設置・設定

設置のしかた	14
設置上のお願い	14
本機の設置手順	18
壁取り付け設置	20
接続のしかた	23
本機に電源を接続する	23
センター モジュールへのID登録	24

その他

外形寸法図	26
故障かな!?	27
仕様	28
保証とアフターサービス	29

はじめに

設置・設定

その他

安全上のご注意

必ずお守りください

はじめに

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

専用の取付金具を使用する

落下によるけがや事故の原因となります。

- 設置の際は、専用取付金具を使用してください。

ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

質量に耐える取り付けをする

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

設置の説明にしたがって壁にしっかり取り付ける

けがや事故の原因となります。

お手入れのときは電源を切る

感電の原因となります。

⚠ 警告



異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

外郭部にひびや割れが発生した場合は、使用をやめ取り外す

落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

使用しなくなった、あるいは使用不可になった場合、放置せずに取り外す

種々の部品の腐食により、落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

地震後は必ず点検する

本体取付部が損傷し、落下の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などけがや事故の原因となります。

高所作業は資格者が行う

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。



医療機器に近づけない

(手術室、集中治療室、CCU等には持ち込まない)

禁止

本機からの電波が医療機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響をおよぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。

可燃性ガスの雰囲気中で使用しない

爆発によるけがの原因となります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

⚠ 警告



禁止

異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

取り付けた状態での部品交換は行わない

部品の落下の危険性があり、事故の原因となります。

変形した取付金具・損傷した外郭部品を使って本機を設置しない

落下の危険性があり、事故の原因となります。

電源を入れたまま工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。

ケーブルなどは引っ張らない

火災や感電の原因となります。

ケーブルなどを傷つけない

重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない

火災や感電の原因となります。



分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店に依頼してください。



雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない (工事時を含む)

感電の原因となります。

使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

丁寧に取り扱ってください

- 本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。
- 部品に欠陥がある場合は、修理または交換してください。

使用温度範囲は

- 0 ℃～+40 ℃です。この範囲外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときはUSBケーブルを抜いてください。
設置条件により容易にケーブルを外せないときは、USB電源アダプターの電源を抜いてください。
- 設置条件により容易に上記ができないときは、本機と接続するUSB電源アダプターを遮断能力のある分電盤のサーキットブレーカーを経由した電源コンセントまたは電源制御ユニットなどのコンセントに接続してください。

通話の傍受について

- 本機は通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。

表示について

本機の識別および電源、その他の表示は機器底面および上面をご覧ください。

お手入れについて

- 電源を切り乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- スプレー式洗浄液、ホース水、高圧清掃水、高温スチームなどは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

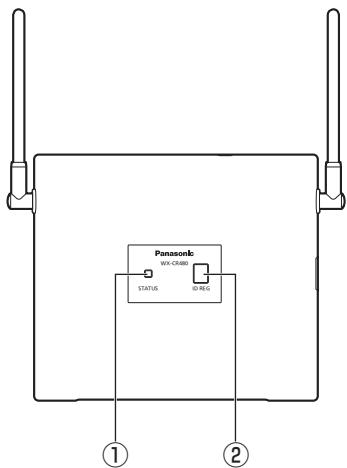
長期間使用しない場合は

- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

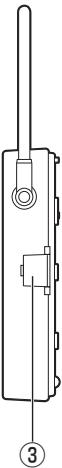
各部の名前とはたらき

はじめ
に

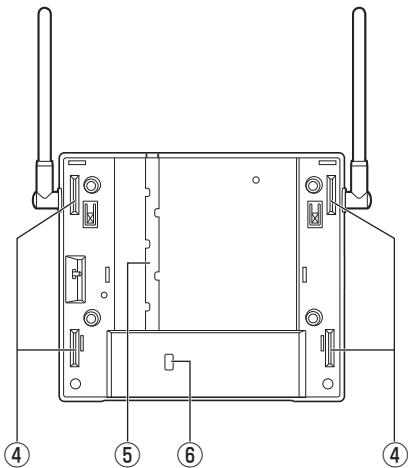
上面



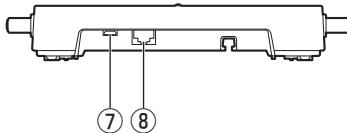
側面



底面



側面



①状態表示灯 [STATUS]

本機の動作状態を表示します。

- | | |
|----------|-----------------------|
| 点灯（橙色） | ：レーンに接続、電波強度が強い |
| 遅い点滅（橙色） | ：レーンに接続、電波強度が弱い |
| 点滅（橙色） | ：レーンにID登録中またはレーンをサーチ中 |
| 点灯（赤色） | ：ID登録なし |
| 点滅（赤色） | ：ID登録失敗 |
| 消灯 | ：給電なし |



- ID登録について、詳しくはセンター モジュールの取扱説明書をお読みください。

②登録ボタン [ID REG]

長押しすると、本機がID登録モードに切り替わり、状態表示灯が橙色に点滅します。

③ねじカバー

壁に取り付ける場合に使用します。このねじカバーを開けて、固定金具にねじ止めします。

④フック引っ掛け部

壁に取り付ける場合に使用します。固定金具のフックに引っ掛ける溝です。

⑤ケーブル固定溝

USBケーブル（17ページ）を通し固定するための溝です。

⑥結束バンド固定部

付属の結束バンドを通し、ケーブルを固定します。

⑦給電用接続端子

USB電源アダプターとの接続端子です。USBケーブルで接続してください。

⑧保守用接続端子

メンテナンスが必要な場合のみ使用します。



- PoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）を保守用接続端子に接続しないでください。故障の原因となります。

設置のしかた

■ 設置上のお願い



- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、USB電源供給を切ってください。また、「安全上の注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 傷害防止のため、この機器は、取扱説明書にしたがって壁にしっかりと取り付ける必要があります。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。
- 丁寧に取り扱ってください。本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。

工事は電源を入れないで行ってください

- 工事は、本機に電源が供給されていないことを確認して行ってください。

設置について

- 高温・多湿の場所で長時間使用しないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。設置場所の放熱を良くしたり、直射日光が直接当たらないようにしてください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやそのほかの部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

設置場所について

- センター モジュールとの到達距離の範囲内に本機を取り付けます。
- センター モジュールと本機の間に、ディスプレイやプロジェクターが設置されていると、電波が遮蔽され音途切れの原因になります。本機は、センター モジュールが見通せる位置に設置してください。
- 本機をできるだけ高い位置に設置してください。低い位置に設置されると運用中、本機とセンター モジュール間を横切る人の影響により音途切れや異音が発生する可能性があります。

- 本システムは構内PHSやコードレス電話機などのDECT無線機器と同じ周波数帯(1.9 GHz帯)を使用しています。同一フロアに構内PHSやコードレス電話機などのDECT無線機器があると電波干渉して通話しにくくなったり、通話が途切れたりする場合があります。
- 銅、アルミ、鉄などの金属製の壁や床、天井で囲まれた空間で使用する場合は、電波反射が大きく、マルチパスフェージングという電波干渉の現象が発生しやすくなります。マルチパスフェージングが起こると電波の強さは十分でも通信エラー(音途切れ)となります。
- コンクリート壁、金属パネル(パーテーション、壁面ロッカー扉など)は、電波を遮りますので、本機とセンターモジュールの間に遮蔽物がないように配置してください。



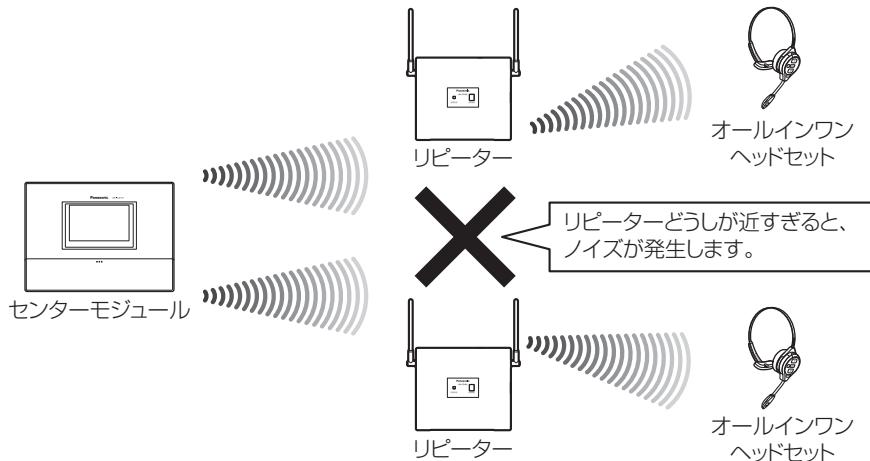
- 本機を低い場所に設置した場合、目安の到達距離より短くなる場合があります。

以下の場所には設置しないでください

- 振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- プールなど化学剤が使用されている場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 本機を使う場所から見て、ディスプレいやプロジェクターなどの背後
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- 金属製の筐体(機器の設置されている金属ラック内)の中、天井や壁が金属で囲まれた部屋の中
- テレビ・ラジオ・パソコンなどのOA機器の近く
- CSデジタル放送受信機(チューナー、チューナー内蔵のデジタルテレビ、レコーダーなど)の近く
- PHS・携帯電話基地局の近く
- 金属で覆われたワゴンの中
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所
- 直射日光が当たる場所
- 屋根がなく、直接、風雨にさらされる場所
- 一般の人が容易に触れることができる場所

設置のしかた

ノイズの原因となることがあるので、リピーターは近接して配置しないでください。



無線干渉について

- 近くに強いノイズを放出する製品がある場合、本機は無線干渉を受けて使用することができないことがあります。
その場合には、無線干渉を受けない距離を確保して本機を設置してください。
(参考：携帯基地局からは30 m以上離す。)
- 以下の場合、設置環境の影響を考慮するため事前に販売店にご相談ください。
 - ・本機をワゴンに載せて使用する
 - ・すでに構内PHSを多数使用している
- 構内PHS、コードレス電話と、本機は同じ周波数帯（1.9 GHz帯）を使用しているため、使用できるオールインワンヘッドセットの最大数が制限される場合があります。

電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときはUSBケーブルを抜いてください。設置条件により容易にUSBケーブルを外せないときは、本機と接続したUSB電源アダプターをコンセントから抜くか、ブレーカーを落としてください。

静電気について

- 静電気による損傷を防止するために、設置工事の前に、アースの取れた金属製のものに触れて身体に帯電した静電気を放電してください。

ねじの締め付けについて

- ねじはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- インパクトドライバーや電動ドライバーは、クラッチ付のものであってもトルク管理が困難なため、使用すると取り付け部の破損の原因になりますので、使用しないでください。

強い衝撃を与えない

- 本機に強い衝撃を与えないでください。本機が破損するおそれがあります。

USBケーブルについて

- USBケーブルは付属していません。
許容電流が0.5 A以上のUSBケーブルを使用してください。
ケーブルの長さには制限があります。詳しくは「接続のしかた」(23ページ)をお読みください。

本機の識別および定格表示について

- 本機の識別および電源、その他の表示は本機の底面銘板をお読みください。

設置のしかた

■ 本機の設置手順

本機を効率よく運用していただくために、以下の手順で事前に仮設置して必要なエリアをカバーできているか確認してください。

1 事前準備

すべてのオールインワンヘッドセットおよびリピーターをセンターモジュールに登録します。 (24ページ)

2 センターモジュールとの接続確認

本機を仮設置し、USB電源アダプター（市販品）から本機に給電します。

本機は電源投入後、センターモジュールに接続を行います。

本機の [STATUS] 表示灯の点灯状態を確認します。

● 本機の [STATUS] 表示灯が橙点灯の場合、電波の強さは十分で設置に適しています。

● 本機の [STATUS] 表示灯が橙点滅の場合、設置位置の調整が必要です。

[STATUS] 表示灯が橙点灯に変わった場合にリピーターを移動させます。

USB電源アダプターを外して給電を止め、本機をセンターモジュールに近づけて設置し、再度USB電源アダプターから給電を行います。

[STATUS] 表示灯が橙点灯になったことを確認します。

3 オールインワンヘッドセットとの接続確認

本機のカバーエリア内で、想定している範囲でオールインワンヘッドセットが使用できることを確認します。

4 固定金具による設置 (20ページ)

センターモジュールとオールインワンヘッドセットの接続が確認できたら、固定金具を使って本機を取り付けます。



- リピーター や オールインワンヘッドセット が 使用できる範囲は、周囲環境 に 依存します。
- 電波の減衰について
屋内にリピーターを設置し、屋外のオールインワンヘッドセットと通信を する場合、建物の壁の材質により電波は減衰し、到達距離が短くなるこ と が あ り ます。
※ 電波の到達距離は、建物の構造、材質などの設置環境に影響されますので、 リピーターを仮設置することにより事前確認してください。

設置のしかた

■ 壁取り付け設置

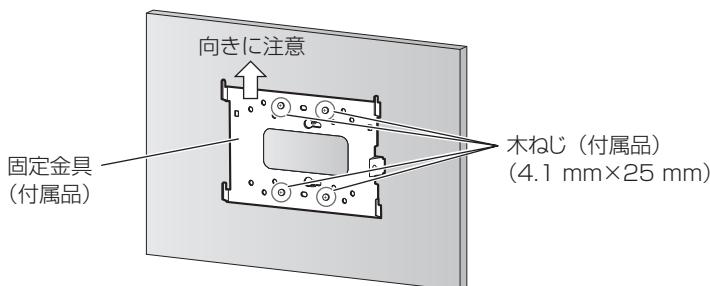
本機からケーブルを外し、以下の手順にしたがって設置してください。



- 壁に設置する場合には、本機の高さを1.5 m以上にしてください。本機を低い場所へ設置する場合、目安のカバーエリアより短くなる場合があります。特に、本機とセンターモジュールの間を人が通過するような配置、金属製機器、家具は電波を遮蔽しやすいため、無線接続が不安定になったり、通話が途切れる場合があります。

1 壁に固定金具をねじ止めする

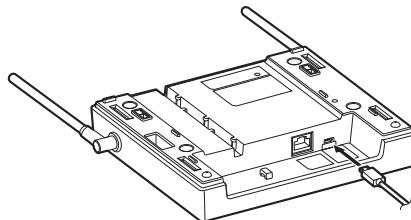
木ねじ（付属品）（4.1 mm×25 mm）4本で固定金具（付属品）を取り付けます。このとき固定金具の↑向きに注意してください。↑向きが製品の上方向になります。



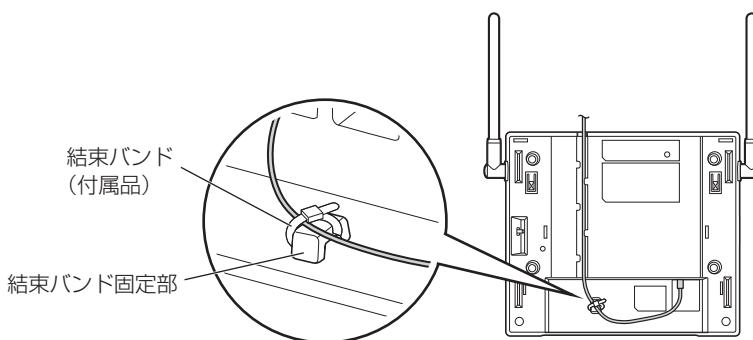
- ねじ1本あたりの最低引抜強度は、196 Nです。
- 石こうボードや合板など、強度が弱い壁には取り付けないでください。やむを得ず取り付ける場合は十分な補強を施してください。

2 ケーブルを本機に接続する

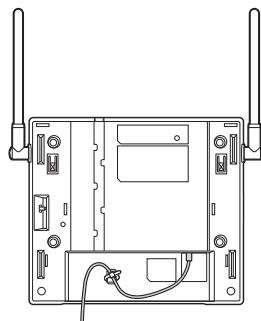
USBケーブルを本機と接続します。



- 接続ケーブルを本機上部に引き出す場合は、下図のように結束バンド固定部に付属の結束バンドを通し、固定したあと、本機底面のケーブル固定溝に通して、ケーブルを本機上部に引き出してください。



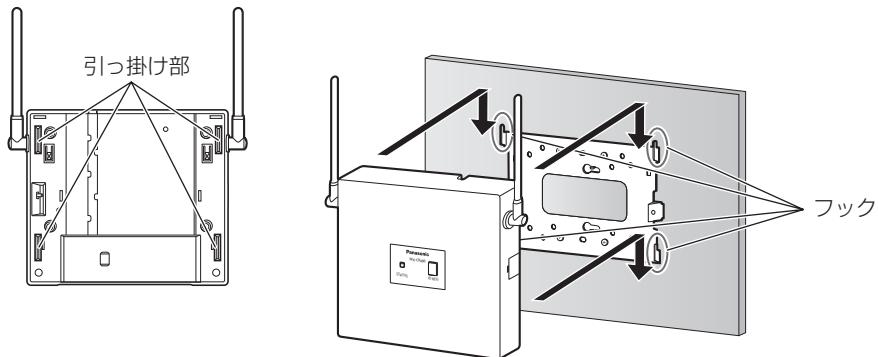
- 接続ケーブルを本機下部に引き出す場合は、下図のように結束バンド固定部に付属の結束バンドを通し固定してください。



設置のしかた

3 本機を設置する

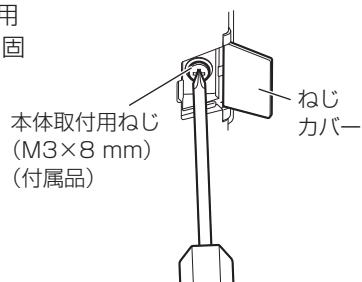
- ①本機を固定金具のフックに引っ掛けます。(4か所)



- ②本機側面のねじカバーを開けて、付属の本体取付用ねじ (M3×8 mm) を使って本機を固定金具に固定します。

●ねじ締付トルク : 0.59 N·m~0.69 N·m
{6 kgf·cm~7 kgf·cm}

- ③ねじカバーを閉じます。



- 落下防止のため、必ず本体取付用ねじを確実に締め付けてください。
締め付けなかった場合、本機の落下につながります。



- トルクドライバーなどを使用し、指定されたトルクで確実に締め付けてください。
- ドライバーはマグネット付のビットを使用してください。

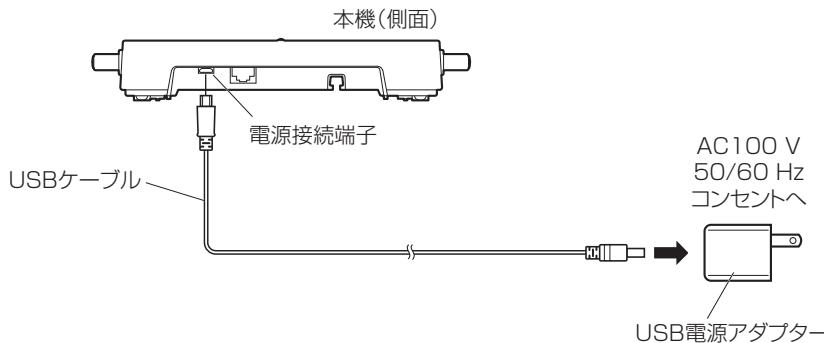
4 設置を確認する

設置完了後、すべての個所がきちんと固定されているか確認してください。
緩んだ部分などがないかどうかも確認してください。

接続のしかた

■ 本機に電源を接続する

1 本機をUSB電源アダプターに接続する



- USBケーブルは5 m以内のものを使用してください。
- USB電源アダプターとUSBケーブルは同梱していません。市販品をお買い求めください。

接続のしかた

■ センターモジュールへのID登録

1 センターモジュールの電源を入れる

2 センターモジュールの画面をID登録画面に移行させる

センターモジュールの操作について、詳しくはセンターモジュールの取扱説明書をお読みください。

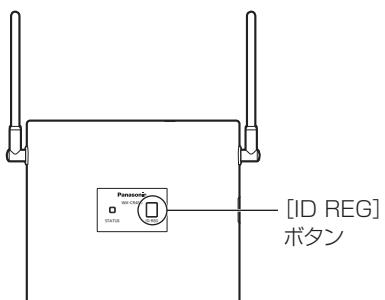


3 センターモジュールのID登録を開始する

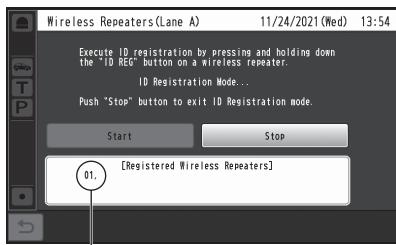


4 本機の電源を入れる

5 本機の [ID REG] ボタンを長押しする

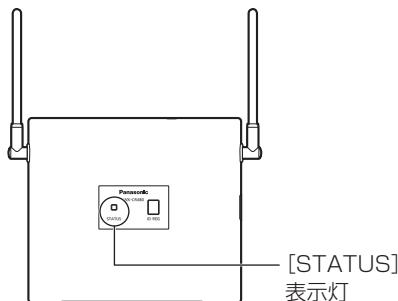


6 センターモジュールで登録確認コメントが表示されたことを確認する



リピーターIDが追加されたことを確認します。

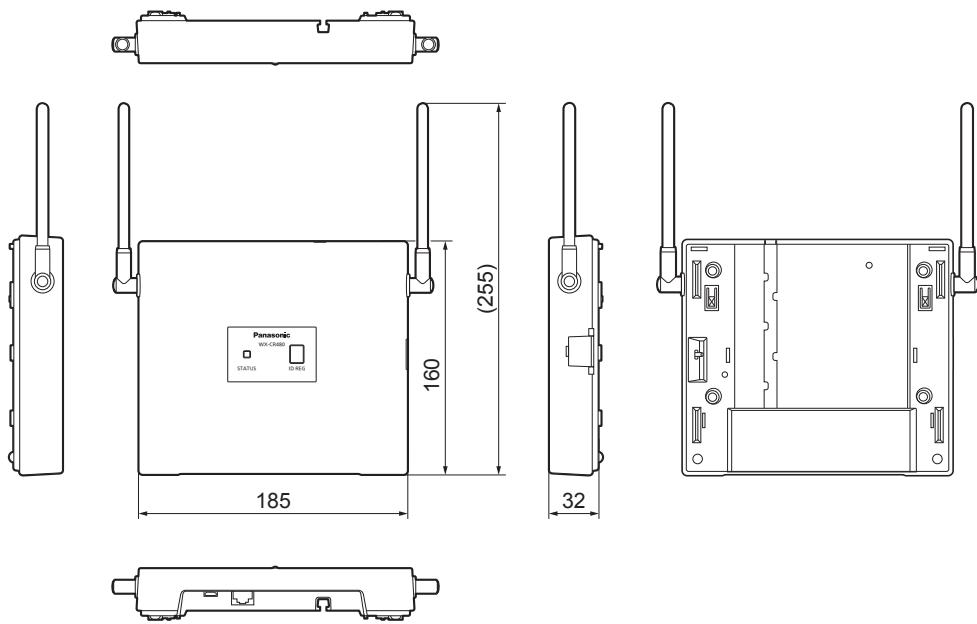
7 本機の【STATUS】表示灯が橙点灯していることを確認する



センターモジュールで登録確認コメントが表示されず、リピーターの【STATUS】表示灯が橙点滅のままの場合、一度リピーターの電源を切り、手順4からID登録をやり直してください。

外形寸法図

単位: mm



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
[STATUS] 表示灯が点灯しない	● 電源が供給されていますか? ➡ 本機とUSB電源アダプターの接続を確認してください。	23
[STATUS] 表示灯が赤色点灯している	● センターモジュールとの通信異常状態です。 ➡ センターモジュールで本機のID登録を行ってください。	13, 24
[STATUS] 表示灯が赤色点滅している	● 本機の登録に失敗しています。 ➡ センターモジュールがリピーターの登録モードであることを確認したあと、本機の [ID REG] ボタンを長押ししてID登録を行ってください。	13, 24
[STATUS] 表示灯が橙色点滅している	● 本機に電源を入れた直後 センターモジュールをサーチしている状態です。 ➡ 本機がセンターモジュールに接続するのをお待ちください。 ● 本機を運用中の場合 センターモジュールからの電波受信レベルが下がっています。 ➡ 本機とセンターモジュール間に障害物が増えていないかご確認ください。改善しない場合、本機の設置位置の変更をご検討ください。	13, 18

その他

仕様

無線	使用周波数	1,895.616 MHz～1,902.528 MHz
	アンテナ	ロッドアンテナ
	受信方式	ダイバーシティ受信
電源	コネクター	USB マイクロB
	使用ケーブル	USBケーブル（市販品）
	供給元	USB電源アダプター（市販品 DC5 V 0.5 A以上）
表示（インジケーター）	STATUS	
使用温度範囲	0 °C～+40 °C	
使用湿度範囲	10 %～90 %（結露なきこと）	
寸法	約185 mm（幅）×160 mm（高さ）×32 mm（奥行き） (アンテナを除く)	
質量	約360 g	
仕上げ	ABS樹脂 セイルホワイト（マンセルN9.3近似色）	
設置	壁取り付け	

保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」(27ページ)
でご確認のあと、USBケーブルを抜いて、お買い上げ日と
右の内容をご連絡ください。

●製品名 ワイヤレスリピーター

●品 番 WX-CR480

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

その他

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に撤去を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に点検を依頼してください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店または施工業者に点検や撤去を依頼してください。

その他

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

- 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。
- その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル  0120-878-410 受付：9時～17時30分
(土・日・祝日は受付のみ)
※携帯電話からもご利用になります。

ホームページからのお問い合わせは

https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をお相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック

エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号